



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
コード番号 3055 URL <https://www.hokutake.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）真鍋 雅信
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理統括本部長 （氏名）親松 和史 TEL 011-633-1030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	74,003	5.0	464	△10.7	767	2.1	668	29.1
2025年3月期第1四半期	70,501	3.7	520	△10.0	751	△8.2	517	4.1

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 757百万円（41.3％） 2025年3月期第1四半期 535百万円（△65.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	31.82	—
2025年3月期第1四半期	24.08	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	152,899	62,408	40.8	2,968.64
2025年3月期	147,451	61,861	41.9	2,942.63

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 62,392百万円 2025年3月期 61,845百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		10.00	—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	146,900	4.0	850	△21.2	1,200	△14.6	700	△20.9	33.31
通期	298,700	3.2	2,500	△14.6	3,100	△14.8	1,900	△23.2	90.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期1Q	24,400,000株	2025年3月期	24,400,000株
2026年3月期1Q	3,382,947株	2025年3月期	3,382,947株
2026年3月期1Q	21,017,053株	2025年3月期1Q	21,514,024株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境に持ち直しの動きがみられたものの、物価高が続く中で内需の回復は力強さを欠いております。加えて、海外経済の減速懸念、長期化する国際情勢に伴う地政学的リスク、米国の通商政策の動向なども景気を下押ししており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。北海道経済におきましては、インバウンド需要や設備投資に支えられ持ち直し基調が続いたものの、人件費の上昇などを背景に企業の景況感には一部で足踏みがみられました。

このような事業環境の中、当社グループは、事業間連携により地域の実状に沿った社会保障基盤の構築に向けグループをあげて付加価値を創造し、「より健やかな地域社会へ」の実現を目指して取り組みを推進しております。

医療機器卸売事業の株式会社竹山は、メディカルトレーニングセンター「ヴィレッジプラス」に国産初の手術支援ロボット「hinotori」のシミュレータを導入し、2025年6月より本格稼働を開始いたしました。医師をはじめとする医療従事者の方々へ最先端の技術習得の場を新たに提供し、患者様の身体的負担が少ない高度医療の普及を支援いたします。同社の強みであるトレーニング施設を活用した本取り組みは、地域医療の質の向上に直接貢献するものであり、今後とも事業の持続的な成長を牽引してまいります。

介護事業の株式会社マルベリーは、西胆振地区を管轄する室蘭登別事業所の新築・拡大移転を進めております。この新拠点は、福祉用具を実際に見て触れて体験できる相談機能を強化するもので、多様化する地域の介護ニーズに、よりの確にこたえる体制を構築いたします。地域包括ケアシステムの中核を担い、高齢者が安心して暮らせる社会づくりに貢献することで、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は740億3百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は4億64百万円（同10.7%減）、経常利益は7億67百万円（同2.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益計上の影響により6億68百万円（同29.1%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（医薬品卸売事業）

医薬品卸売事業におきましては、2025年4月に薬価改定が実施されました。後発医薬品における供給面での混乱は未だに継続している状況です。また、2024年10月から新たに導入された選定療養の影響もあり長期収載品の売上が減少する傾向も依然として続いています。前年同期比較では新型コロナ治療薬の売上減少などマイナスの影響はあったものの、新薬創出加算品の販売に積極的に取り組んだ結果、公費助成による带状疱疹ワクチンの需要増もあり売上全体では前年同期を上回ることができました。利益につきましては、物流コストの削減など経費率の圧縮に全社で取り組みましたが仕入原価の上昇により減益となりました。

その結果、売上高は552億46百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は4億50百万円（同12.3%減）となりました。

（医療機器卸売事業）

医療機器卸売事業におきましては、主要なお得意先における手術や検査などの症例件数は引き続き増加傾向となりました。しかしながら前年同期は手術支援ロボットなどの大型医療機器の需要が多かったこともあり、売上は前年同期を下回りました。利益につきましては、商品仕入金額の上昇や販売コストの増加もあり、減益となりました。

その結果、売上高は165億86百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は1億41百万円（同8.4%減）となりました。

（薬局事業）

薬局事業におきましては、売上では、薬価引き下げが2025年4月に行われたものの、高額医薬品の処方増により処方箋単価は6.6%の上昇となりました。処方箋一枚あたり、薬剤料単価は6.8%、また、昨年の調剤報酬改定後の各種加算算定の取り組みにより技術料単価は5.9%増加いたしました。一方、処方箋枚数は、前年度の店舗閉鎖や医療機関の閉院等が重なり、前年同期比で6.6%減少となりました。利益につきましては、処方箋枚数の減少と、医療用医薬品の納入価格の未妥結により、前年同期に引き続き営業損失となりました。

その結果、売上高は31億29百万円（前年同期比1.0%減）、営業損失40百万円（前年同期は営業損失68百万円）となりました。

（介護事業）

介護事業におきましては、福祉用具のレンタル・販売および住宅改修と介護ロボットの普及推進各部門で営業員の増員・育成を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上は安定的に推移しました。サービス付高齢者向け住宅では、各施設・事業毎の利用者状況に基づき、効果的な職員配置とサービス内容や提供時間の見直しにより、売上と利益が増加しました。

その結果、売上高は10億89百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は67百万円（同86.1%増）となりました。

（ICT事業）

ICT事業におきましては、前年度より物販案件の受注が堅調に推移しており、一般企業向けの機器やライセンス販売が予定を上回る売上を達成いたしました。一方、利益面につきましては、利益率の高い開発案件の売上計上が次期以降にずれ込んだことが主要因となり、営業損失となりました。

その結果、売上高は3億98百万円（前年同期比3.3%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

（その他事業）

その他事業（子会社の経営指導等）におきましては、売上高は10億92百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は6億96百万円（同3.7%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結累計期間末の資産、負債及び純資産は、前連結会計年度末との比較において以下のとおりとなりました。

総資産は1,528億99百万円（前連結会計年度末は1,474億51百万円）となり、54億47百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が21億円、受取手形及び売掛金が29億31百万円、建設仮勘定で5億99百万円増加した一方、商品及び製品が2億6百万円減少したことによるものです。

負債は904億91百万円（前連結会計年度末は855億90百万円）となり、49億円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務の支払債務が40億9百万円、賞与引当金が5億71百万円、未払消費税等が2億94百万円増加した一方、繰延税金負債で1億10百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、624億8百万円（前連結会計年度末は618億61百万円）となり、5億46百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が4億58百万円増加したことによるものです。

（3）当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億円増加し、198億39百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は27億5百万円（前年同期比47.3%増）となりました。これは、増加要素として税金等調整前四半期純利益10億15百万円（同36.6%増）、減価償却費2億78百万円（同8.8%増）、棚卸資産の減少2億5百万円（同66.9%減）、仕入債務の増加40億9百万円（同173.2%増）、賞与引当金の増加5億71百万円（同0.5%減）、未払消費税等の増加2億94百万円（前年同期は14百万円の減少）などがありましたが、減少要素として売上債権の増加28億55百万円（前年同期比86.8%増）、法人税等の支払額6億31百万円（同24.1%減）があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億13百万円（前年同期比44.4%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億93百万円（同8.1%増）、無形固定資産の取得による支出15百万円（同23.4%減）および投資有価証券の売却による収入4億5百万円（前年同期は実績なし）によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億91百万円（前年同期比3.8%減）となりました。これは主に配当金の支払1億70百万円（同3.1%減）およびリース債務の返済19百万円（同9.4%減）があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,739	19,839
受取手形及び売掛金	58,780	61,712
商品及び製品	19,114	18,908
仕掛品	1	2
その他	8,206	8,026
貸倒引当金	△23	△27
流動資産合計	103,819	108,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,406	10,482
土地	11,836	11,841
建設仮勘定	454	1,053
その他（純額）	928	917
有形固定資産合計	23,625	24,295
無形固定資産		
のれん	690	663
ソフトウェア	464	485
その他	324	454
無形固定資産合計	1,478	1,602
投資その他の資産		
投資有価証券	17,038	17,044
長期売掛金	185	125
長期貸付金	175	172
繰延税金資産	368	401
退職給付に係る資産	185	175
その他	761	747
貸倒引当金	△186	△126
投資その他の資産合計	18,527	18,540
固定資産合計	43,632	44,437
資産合計	147,451	152,899

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,995	78,612
電子記録債務	3,008	3,400
1年内返済予定の長期借入金	1	1
未払法人税等	659	528
賞与引当金	1,022	1,594
役員賞与引当金	141	31
その他	2,518	3,205
流動負債合計	82,346	87,374
固定負債		
長期借入金	11	10
繰延税金負債	2,064	1,954
再評価に係る繰延税金負債	124	124
退職給付に係る負債	54	30
長期末払金	393	396
資産除去債務	346	350
その他	248	249
固定負債合計	3,243	3,116
負債合計	85,590	90,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	45,017	45,476
自己株式	△2,461	△2,461
株主資本合計	55,378	55,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,005	7,093
土地再評価差額金	△715	△715
退職給付に係る調整累計額	176	177
その他の包括利益累計額合計	6,467	6,555
非支配株主持分	15	16
純資産合計	61,861	62,408
負債純資産合計	147,451	152,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	70,501	74,003
売上原価	65,355	68,749
売上総利益	5,145	5,253
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	290	293
給料及び手当	2,022	2,073
賞与引当金繰入額	508	512
役員賞与引当金繰入額	30	30
退職給付費用	84	77
法定福利費	396	403
賃借料	72	71
その他	1,221	1,325
販売費及び一般管理費合計	4,625	4,789
営業利益	520	464
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	154	174
不動産賃貸料	33	39
持分法による投資利益	30	30
貸倒引当金戻入額	3	51
その他	53	50
営業外収益合計	276	346
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	25	25
遊休資産諸費用	11	10
その他	8	7
営業外費用合計	45	43
経常利益	751	767
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	-	259
特別利益合計	-	259
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	3	10
投資有価証券評価損	3	-
特別損失合計	8	10
税金等調整前四半期純利益	743	1,015
法人税、住民税及び事業税	512	522
法人税等調整額	△287	△175
法人税等合計	224	346
四半期純利益	518	668
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	517	668

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	518	668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	87
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	17	88
四半期包括利益	535	757
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	535	756
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	743	1,015
減価償却費	255	278
のれん償却額	27	27
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	△55
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△7	△22
賞与引当金の増減額（△は減少）	574	571
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△103	△109
受取利息及び受取配当金	△155	△175
支払利息	0	0
持分法による投資損益（△は益）	△30	△30
固定資産売却損益（△は益）	0	△0
固定資産除却損	3	10
投資有価証券売却損益（△は益）	-	△259
投資有価証券評価損益（△は益）	3	-
売上債権の増減額（△は増加）	△1,528	△2,855
棚卸資産の増減額（△は増加）	618	205
仕入債務の増減額（△は減少）	1,467	4,009
未払消費税等の増減額（△は減少）	△14	294
未収歩戻金の増減額（△は増加）	797	173
預り金の増減額（△は減少）	△28	22
その他	△113	57
小計	2,508	3,157
利息及び配当金の受取額	159	179
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△831	△631
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,836	2,705
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△733	△793
有形固定資産の売却による収入	15	0
無形固定資産の取得による支出	△20	△15
無形固定資産の売却による収入	-	0
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	-	405
貸付金の回収による収入	4	3
固定資産の除却による支出	△3	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△744	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△176	△170
リース債務の返済による支出	△21	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198	△191
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	893	2,100
現金及び現金同等物の期首残高	20,813	17,739
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,706	19,839

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	49,342	16,797	3,158	1,040	143	18	70,501
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,229	381	3	0	269	1,016	3,901
計	51,572	17,179	3,161	1,041	412	1,035	74,402
セグメント利益又は損失(△)	513	154	△68	36	△4	671	1,302

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,302
セグメント間取引消去	△727
のれんの償却額	△21
棚卸資産の調整額	△33
四半期連結損益計算書の営業利益	520

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

（1）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他事業	
売上高							
外部顧客への売上高	53,160	16,475	3,127	1,088	143	8	74,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,086	110	2	0	255	1,083	3,539
計	55,246	16,586	3,129	1,089	398	1,092	77,542
セグメント利益又は損失（△）	450	141	△40	67	△3	696	1,312

（2）報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	1,312
セグメント間取引消去	△797
のれんの償却額	△23
棚卸資産の調整額	△27
四半期連結損益計算書の営業利益	464

（3）報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。